

鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造建築物等の応急危険度判定調査表

整理番号 _____ 調査日時 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 調査回数 _____ 回目

調査者氏名（都道府県／No） _____

整理番号

建築物番号

住宅地図整理番号

調査方法

判定(1)

建築物概要

- 1 建築物名称 _____ 1.1 建築物番号 _____
- 2 建築物所在地 _____ 2.1 住宅地図整理番号 _____
- 3 建築物用途 1.戸建て専用住宅 2.長屋住宅 3.共同住宅 4.併用住宅 5.店舗 6.事務所
7.旅館・ホテル 8.庁舎等公共施設 9.病院・診療所 10.保育所 11.工場
12.倉庫 13.学校 14.体育館 15.劇場、遊戯場等 16.その他 ()
- 4 構造種別 1.鉄筋コンクリート造 2.プレキャストコンクリート造 3.ブロック造
4.鉄骨鉄筋コンクリート造 5.混合構造 () と ()
- 5 階数 地上 _____ 階 地下 _____ 階
- 6 建築物規模 1階寸法 約 ア m × イ m

調査 調査方法：(1.外観調査のみ実施 2.内観調査も併せて実施)

1 一見して危険と判定される。(該当する場合は○を付け危険と判定し調査を終了し総合判定へ)

1.建築物全体又は一部の崩壊・落階	2.基礎の著しい破壊、上部構造との著しいずれ
3.建築物全体又は一部の著しい傾斜	4.その他 ()

2 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
判定(1) ① ①損傷度Ⅲ以上の損傷部材の有無	1.無し	2.あり	
判定 ② ③ ④ ⑤ ⑥	②隣接建築物・周辺地盤の破壊による危険	1.危険無し	2.不明確
	③地盤破壊による建築物全体の沈下	1. 0.2m以下	2. 0.2m～1.0m
	④不同沈下による建築物全体の傾斜	1. 1/60以下	2. 1/60～1/30
	柱の被害〔下記⑤⑥の調査階（被害最大の階） _____ 階〕（壁構造の場合は柱を壁の長さに読みかえる）		
	⑤損傷度Ⅴの柱本数／調査柱本数 損傷度Ⅴの柱総数 _____ 本 調査柱 _____ 本（調査率 _____ %）		
(2)	⑥損傷度Ⅳの柱本数／調査柱本数 損傷度Ⅳの柱総数 _____ 本 調査柱 _____ 本（調査率 _____ %）		
	判定(2)	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1の場合
	危険度の判定 判定(1)と判定(2)のうち大きな方の危険度で判定する	1.調査済み （要内観調査）	2.要注意
			3.危険

柱の被害最大の階

3 落下危険物・転倒危険物に関する危険度

	Aランク	Bランク	Cランク
①窓枠・窓ガラス	1.ほとんど無被害	2.歪み、ひび割れ	3.落下の危険有り
②外装材（モルタル・タイル・石貼り等）	1.ほとんど無被害	2.部分的なひび割れ、隙間	3.顕著なひび割れ、剥離
③外装材（ALC板・PC板・金属・ブロック等）	1.目地の亀裂程度	2.板に隙間が見られる	3.顕著な目地ずれ、板破壊
④看板・機器類	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.落下の危険有り
⑤屋外階段	1.傾斜無し	2.わずかな傾斜	3.明瞭な傾斜
⑥その他 ()	1.安全	2.要注意	3.危険
危険度の判定	1.調査済み 全部Aランクの場合	2.要注意 Bランクが1以上ある場合	3.危険 Cランクが1以上ある場合

総合判定（調査の1で危険と判定された場合は危険、それ以外は調査の2と3の大きい方の危険度で判定する。）

1. 調査済（緑） 2. 要注意（黄） 3. 危険（赤）

総合判定

コメント（構造躯体等が危険か、落下物等が危険かなどを記入する。）